



特定非営利活動法人もりずむ 団体概要

■ 設立:2012(平成24)年12月5日(法人登記日)

■ 名前の由来:「森に住む」、「森のリズム」、「森林主義:森ism」

■ 設立の背景:

林業は衰退をきわめている。林業が衰退すると、中山間地域の暮らしが成立できなくなるばかりでなく、森林の荒廃が進み山地の崩壊、土砂災害などを引き起こす。ひとたび山地崩壊が発生すると土砂がむき出しになり、豪雨の度にさらに土砂災害を誘発し易くなる。さらに岩盤までむき出しになると森林の再生は不可能となってしまう。

では、林業を再生するにはどうすればいいか? 林業衰退の大きな要因は、木材価格の低迷にある。丸太価格は30年前の実に3分の1まで下がった。そこで、木材および森林の本来持っている特性を最大限生かすことを基本に据え、さまざまな工夫を取り入れて「食っていける、儲かる林業」を立ち上げて、林業の誇りを持って豊かに暮らしていこうと、NPO法人「もりずむ」は設立された。

■ 団体理念:

著しく産業が衰退・低迷する中山間地域において、付加価値を高めた木材の製造・販売を基軸とし、木工品、薪プロジェクト、林業体験イベント等を組み合わせた複合的事業を行って持続可能な林業を目指すとともに、安全な無垢の木材を普及させ、もって森林の保全、中山間地域の産業振興ならびに安全、安心、快適な暮らしづくりに貢献する。

【食っていける、儲かる林業の確立】

- ①付加価値を高めた木材の製造販売で価格の適正化
- ②端材・不用木、森林空間の有効利用による収入源の複合化
 - → 収益性を改善して持続可能な林業を確立する。

+

【心身ともに健康な暮らしづくりへの貢献】

- ①安全・快適な "無垢の木材" を、暮らしの中に広く普及する
- ②豊かな"森林空間"を、人々が楽しめる場として提供する



【地域が元気に、暮らしが安心・豊かに!】を目指す

■ 役員:

(理事長) 藤﨑 昇 (一級建築士、一級土木・造園施工管理技士、林業技士)

(副理事長) 三浦妃己郎(三浦林商 代表、林業技士)

(副理事長) 清水正義(株式会社みどりの素材研究所 代表取締役:工学博士)

(監事) 柳田国男(三重県職員:樹木医)

- 会員数: 22名(2015年9月末時点) 山林所有者、林業家、木材市場、大工、農家、主婦、子育支援グループ代表、学生、地方公 務員など
- 事業紹介: (2015年9月末時点)
 - 【もりずむの木】付加価値を高めた地域木材の生産・販売事業

粘り強さ、耐久性、色艶、心身療養効果など木の本来持っている特性を最大限引き出すとされている伝統的林業「月齢伐採+葉枯らし天然乾燥」により木材を製造するとともに、どこの山から伐採した木材か?を追跡できる「トレーサビリティ」が確保できる製品管理を行って、品質、信頼性両面で付加価値を高めている。主に柱、梁桁などの住宅用構造材、床板等の板類として販売、これまでの3年間で合計37棟に出荷した。

【薪プロジェクト】

伐採現場および製材現場で発生する不用木、端材の有効利用を図って、薪の製造販売を行う。原木の買取り時に"地域通貨券"を発行することで、経済の地域循環を図り、地域活性への貢献にも努める。 1 年間の準備を経て 2015 年 9 月末から販売スタートした。

- 【木工品の製造販売】薪同様に不用木・端材の有効利用を図り、積み木、まな板、丸太スツール、 木のオカリナ、丸太コンロ、ペンダント、箸、スプーン・フォークなどの木工品を製造、 販売している。販売は美杉リゾート、道の駅美杉、ひだまり美杉、みずほのおかげ市場 での委託。あるいは各種イベント出店での販売。
 - 【企業の森】企業の CSR 活動を支援すると共に、職員の心身リフレッシュ場所として豊かな森林空間を提供する。2014年から「美里水源の森」(津市美里町の市有林 6ha) 内で『セブンの森』が三重県、津市、セブン-イレブン記念財団の3者で提携され、もりずむはイベント運営+保全管理業務をセブン-イレブン記念財団から受託した。
- 【木太郎(きたろう)プロジェクト】一般消費者に森林の中の木一本ごとの里親になってもらい、枝打ち、下草刈り、除伐、間伐などの施業をしながら木の育成を体験する。また、伐採した木材を使って木工品、家具、家づくりを体験する。これらの林業体験を通じて、林業の時間スケールの壮大さ、ロマンを体感するとともに、林業および森林の良き理解者、ファンになってもらう。現在、準備中。
- 【森のようちえん】豊かな森林空間を、自然環境の体感により感受性豊かな幼児教育の場として提供する。森林空間で過ごすことで、豊かな感性、創造性、協調性、慈愛等を効果的に育む。幼児から保護者(大人)まで森に親しむことで、森林空間の素晴らしさを再認識してもらい、暮らしと森を繋ぐ絶好の機会となる。山林所有者にとっても、森を訪れた人々に喜んでもらえることで、これまで失っていた森林整備に対する意欲を再び呼び覚ます機会ともなり得る。現在、事業化に向けて検討準備中。

【その他の事業】

- ○森林施業、間伐事業補助申請等の支援事業、山林売買
- ○耐震診断・改修、バリアフリー修繕等のリフォーム事業
- ○森林及び森林資源利用、木材特性等の調査、研究事業 (京都大学、三重大学の指導を受けて継続調査中)

■ 連絡先:

〒514-0821 三重県津市垂水 1 3 8 9 - 1

HP 090-5458-6898(藤崎), FAX 059-229-3540,

E-mail : noboru.fujisan@gmail.com, ホームページ: http://morhythm.org/